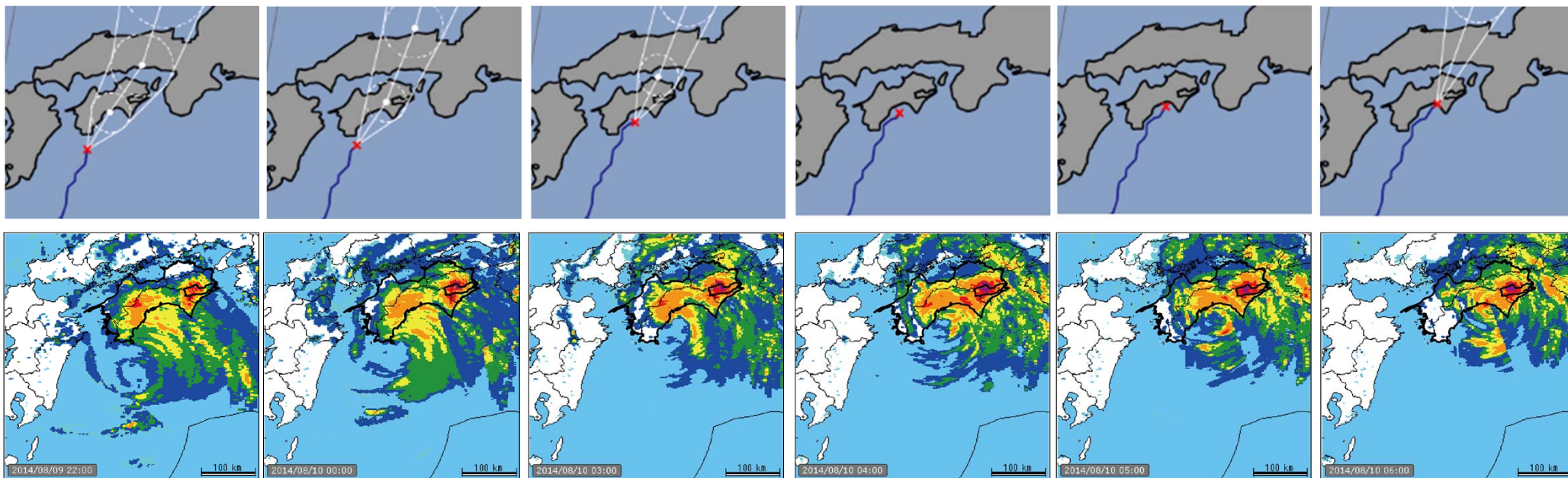


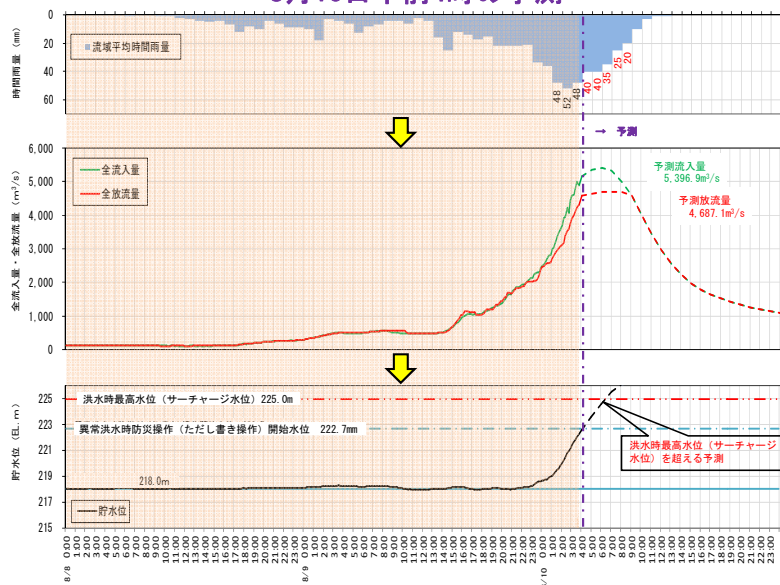
# Q3) 貯水池容量の有効活用(台風11号での状況)

- 台風の進路予測は、時間とともに中心がやや東にズれるように変化
- 台風は移動するが、雨域は長安口ダム上流域に留まり続け、40mm~50mm強の雨が7時間にわたって降り続いた。
- 長安口ダムは、8月10日午前4時20分に「異常洪水時防災操作(ただし書き操作)」に移行し、毎秒5,000m<sup>3</sup>を超える放流を行った。

8月9日22時 → 8月10日0時 → 8月10日3時 → 8月10日4時 → 8月10日5時 → 8月10日6時



8月10日午前4時の予測



これ以上、ダムに貯められなかった理由

このまま貯め続けると洪水時最高水位(サーチャージ水位: 標高225m)を超える(ダムが満杯となる)予測であった。

貯水位が標高222.7m(ただし書き操作開始水位)を超えたことから、「異常洪水時防災操作(ただし書き操作)」に移行した。

# Q3)貯水池容量の有効活用(雨量予測の不確実性について)

## 雨量予測：気象予報会社より取得

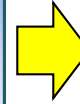
雨量 (mm)

時刻	台風11号 実績雨量	民間の気象予報会社の予測雨量											
		22時 ①予測	23時 ②予測	0時 ③予測	1時 ④予測	2時 ⑤予測	3時 ⑥予測	4時 ⑦予測	5時 ⑧予測	6時 ⑨予測	7時 ⑩予測	8時 予測	9時 予測
22時	21												
23時	34	25											
0時	36	25	25										
1時	48	30	30	30									
2時	52	30	30	30	35								
3時	48	35	35	35	40	45							
4時	40	30	40	40	35	40	45						
5時	41	30	35	35	40	35	40	40					
6時	50	30	30	30	35	30	30	35	35				
7時	46	20	20	20	30	25	25	25	25	35			
8時	36	10	10	10	20	20	20	20	20	25	40		
9時	7	3	3	3	10	10	10	10	10	20	35	30	
10時	2	1	1	1	3	3	3	3	3	5	20	20	8

注)   は雨量ピーク  
 赤字は実績雨量より少ない予測雨量  
 青字は実績雨量より多い予測雨量

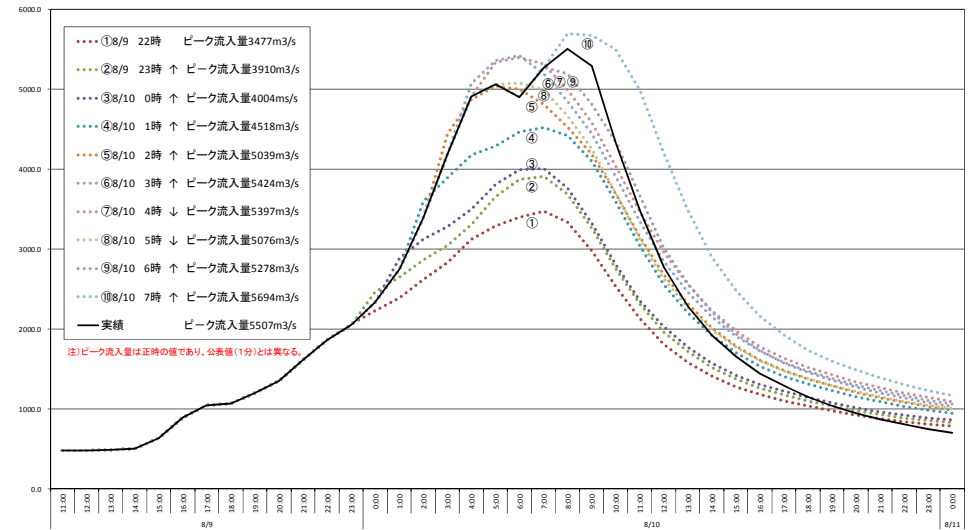
※通常時の予測は数時間おきに行っている。

現在の予測技術では、今後の雨量を正確に予測することは困難



## ダムへの流入量予測：雨量予測に基づき、ダムで計算

流入量 (m<sup>3</sup>/s)

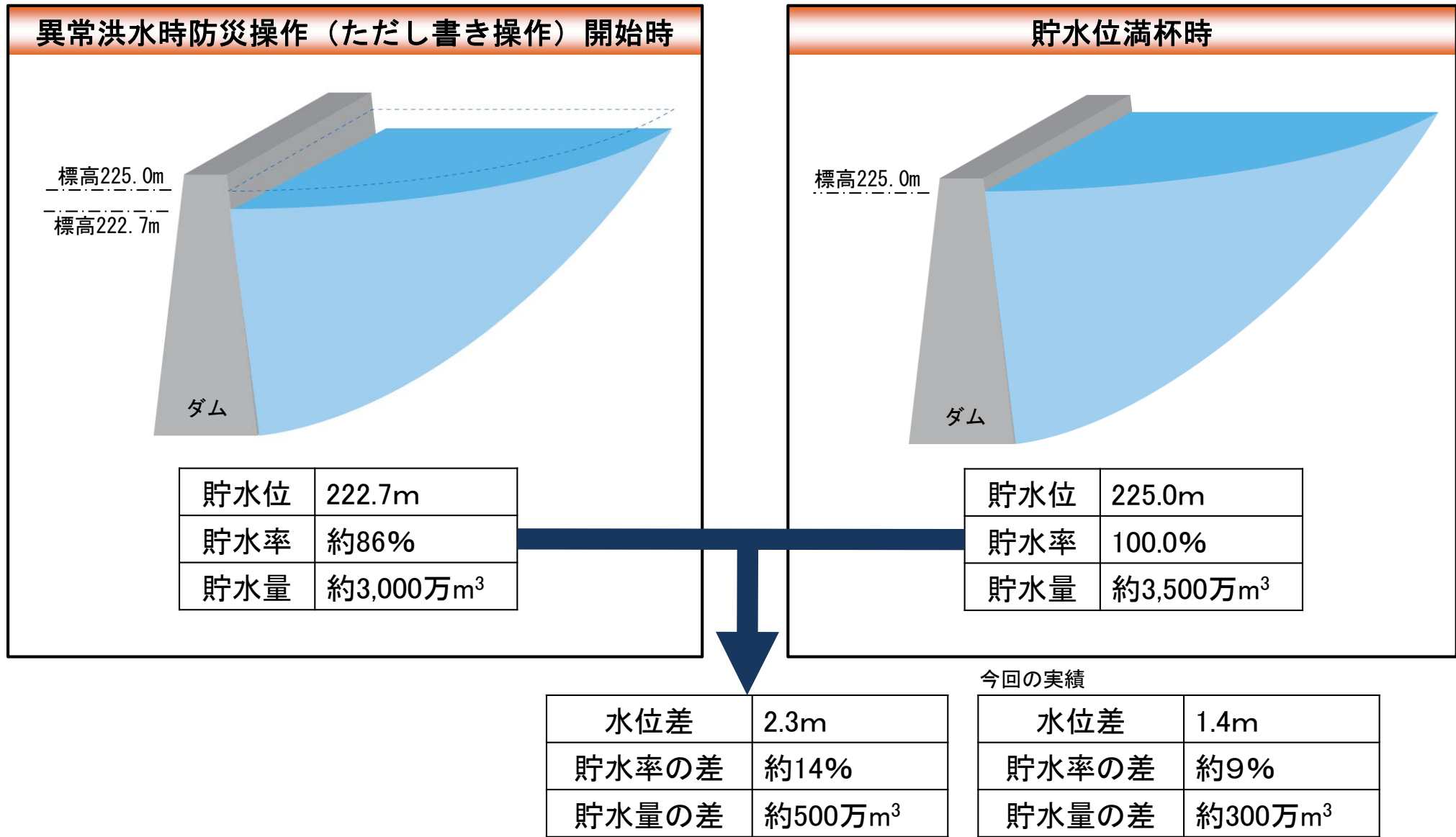


雨量予測を基に計算されるダムの流入量も大幅に変化する。

※①22時以降、流入量予測は増え続けるが、⑦4時以降減少。ところが⑨6時以降に再度増加。

現在の予測技術では、ダム流入量を正確に予測し、ダムの容量を使い切る操作を行うことは困難です。  
 引き続き、雨量予測及びダムへの流入量予測の精度向上に努めていきます。

# Q3) 貯水池容量の有効活用(異常洪水時防災操作開始以降の貯留可能量)



約500万m<sup>3</sup>の貯水量は、仮に、毎秒約1,000m<sup>3</sup>（流入量と放流量の差）の貯留を続けると、約1時間20分で満杯になる量であり、決して異常洪水時防災操作開始以降の貯留可能量に、余裕があるものではありません。